

◇新型コロナウイルス感染症対策について

1 会場への入場を認める者(観客以外)

- (1) 陸上競技専門部・審判員などの役員及び補助員、当該競技参加校の部顧問(外部指導者を含む)、選手を含む部員、引率者(保護者を除く)、来賓など。
- (2) 陸上競技専門部から入場を許可された者(報道関係者、参加校の写真部員など)
※ 感染症対策の観点から、参加校の一般教職員、一般生徒、一般観客については基本的に会場(陸上競技場・補助競技場)への入場を認めない。
※ 入場を認められた者には、4以降の感染症対策項目について遵守を呼びかける。

2 観客の入場及び応援について

- (1) 陸上競技は観客のコントロールが難しい競技であるため、会場内を1で認められた者以外の立入禁止エリアとし、観客の入場を認めない。
- (2) 観客の応援は、立入禁止エリア以外の陸上競技場スタンド及び補助競技場南側(桜並木)からのみとする。
※ 観客に対しても、4以降の感染症対策項目について遵守を呼びかける。

3 会場への入場を認められない者

以下の事項に該当する者は会場への入場を認めない。

- (1) 保護者同意書(様式1)を学校長へ提出していない部員。
- (2) 体調チェック表(様式2)を競技専門部に提出していない者。
- (3) 体調チェック表(様式2)で、いずれかの項目に×がついている者。
- (4) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある者。

4 感染防止について

- (1) 感染防止のために遵守すべき事項を整理し、適切な場所に掲示する。
- (2) 4の(1)の事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。
- (3) 会場入場者にマスクの着用を徹底させる(競技中の選手は除く)。
- (4) こまめな手洗いを呼びかけ、手洗い場には液体石鹸等を用意し、可能な限り、アルコール消毒液を必要個所に設置する。
- (5) 参加者にマイタオルを準備させ、マイタオルの使用を徹底させる。
- (6) 各校の控え場所(屯所)においては、テント等を用いる場合は室内の換気を徹底させる。常時開放ができない場合は一定時間ごとの一斉換気を実施させる。
- (7) 更衣室、休憩・待機スペースについては、諸室等を活用し、ゆとりを持たせて密になることを避ける。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する選手の数制限する等の措置を講じる。
- (8) 素手の「握手」「ハイタッチ」「肩を組む」など、競技以外の身体接触を控えさせる。また、ミーティング等も短時間で行い、密にならないよう指導する。
- (9) 会場内のゴミ箱の使用を禁止し、ゴミの持ち帰りを徹底させる。
- (10) 会場等で急に風邪症状の生徒が出た場合は、当該校職員が保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。その場合、他の生徒等への健康観察を徹底させる。
- (11) 気温・湿度が高くなる時期であることを踏まえ、熱中症対策を講じるとともに、注意喚起を行う。

5 大会前に学校内で感染が判明した場合

- (1) 当該校の臨時休業の措置が取られた後、保健福祉事務所と教育委員会(私立学校は当該校)が協議のうえ、学校の再開が決定される。臨時休業の措置が取られている間は、全ての競技において当該校は大会に参加できない。

6 大会開催期間中に感染が判明した場合

- (1) 大会開催期間中に感染が判明した場合は、競技を即時中止する。
- (2) 該当競技参加者が保健福祉事務所などの聞き取り等に協力し、その指示に従うとともに、感染拡大防止に努めるよう指導する。

7 観客(応援者)のみなさんへのお願い

(1) 応援場所を次のように定めます。

- ・メインスタンドへの入り口は西側中央階段(北側)のみを開放しています。
- ・サイドスタンドとバックスタンドに入られるときは北側サイドスタンドの階段、1か所を開放しています。
- ・補助競技場は桜並木からの応援となります。
- ・陸上競技場(メイン競技場)の応援場所はメインスタンド及びサイドスタンド、バックスタンドと補助競技場の南側(桜並木)とする。※競技場内には入ることができません。

(2) 観客(応援者)は、各校の控え場所(屯所)には行かないこと。

(3) 保護者が子供(選手)と接触したい場合は、ミックスゾーン(陸上競技場と佐賀県スポーツ会館の間)

でのみ物の受け渡し及び連絡等を行うことができる。

(4) 観客(応援者)も必ず朝、検温をして発熱がないことを確認し、体調不良等があった場合は応援に来ないこと。

(5) 観客(応援者)の駐車場は佐賀県合同庁舎に用意をするが、台数(170台分)に限りがあるため、出来るだけ公共交通機関を利用すること。

(6) 観客(応援者)の応援時の密を避けるため、桜並木での場所取りは禁止とする。目的とする種目の応援が済んだら、直ぐに移動すること。

(7) 観客(応援者)の集団での応援は、密を避けるため厳に慎むこと。

(8) 陸上競技場では観客(応援者)同士が密にならないように間隔をあけること。(お互いの間隔は1m以上です)

(9) 観客(応援者)の控え場所がないので、熱中症対策を十分に行うこと。